PA打楽器

	氏名	担当科目	経歴	メッセージ
個人	加藤 勲	ドラムセット ラテン・アフロ系パーカッション	日本のポップスバンドのドラマーとしてデビューした後に、スタジオやセッションの現場でプロ活動を始める。次第にラテンパーカッションの演奏をドラムセットに取り入れて、様々な音楽ジャンルの演奏に関わる。プロ活動の中で他者とは違う独自の音楽表現能力を身に着ける為に、音楽の盛んな都市であるアメリカ合衆国のロス、ニューヨーク、シカゴ、ニューオリンズや、キューバのハバナ、トルコのイスタンブール等で現地の音楽家らとセッション活動を行う。くわえて演奏技術習得の補足として、身体動作についてアレクサンダー・テクニークを学び、踊りとリズムの関連性をインターロック・メソッドから学ぶ。ブラジルのソウザリマ音楽大学にて、打楽器（ドラムセットとラテン・アフロ系パーカッション）演奏を学ぶ。在学中に「リオのカーニバル」として知られる、サンバ・バラードを行うエスコラ・ジ・サンバ（Escola de Samba）に打楽器奏者として複数の団体に参加する事で、ブラジルの文化の文脈で演奏経験を積む。沖縄県立芸術大学 音楽芸術研究科に進学し、エスコラ・ジ・サンバを主な対象としてその音楽のリズムを分析した。YAMAHA, Zildjian, Contenporânea, アサブラ社らとエンドース契約を結ぶ。	ドラムやラテン・アフロ系パーカッションに興味を持っている皆さんへ。授業ではラテン・アフロ系やポップスなど様々な音楽ジャンルのリズムやフレーズに触れる機会を作り、ドラムやパーカッションでそれを豊かに表現するためにはどのような演奏技術や知識が必要なのかを教えます。「ドラムを演奏できるようになりたい」「作曲の為にドラムを知りたい」どんな理由でも大丈夫です。一緒に音楽のリズムの持つ可能性を探求していきましょう。